

# 九品仏地区 社協だより No.212



発行者：九品仏地区社会福祉協議会  
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局  
世田谷区奥沢7-35-4  
九品仏まちづくりセンター内  
☎070-3946-9797  
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

## 学ぶ日本の心 ふれあい茶道教室(2/14)

体験教室も5回目を迎え、和やかな雰囲気の中始まりました。  
今回の参加は、前半の部は8名(子ども4名・大人4名)、後半の部は9名(インド・中国の方を含む)のご参加を頂きました。  
まずは昨年同様、立礼薄茶点前(椅子に座り、テーブルでお茶を点てる)のデモンストレーションを見て頂き、お茶の頂き方や、なぜお茶を頂く前にお菓子を食べるのかとか、お軸や花器、ふだん聞きなれない茶道具の名前の説明をいたしました。そして実際にスタッフの指導のもと、ご自分でお茶を点てて頂きました。濃い目に点てる方、薄めに点てる方、いろいろございましたが、一様にご自分で点てたお茶はおいしかったです。  
参加された皆様からは「お茶を点てるまでの順番がよく分かった」「心が穏やかになり、幸せな時間でした」など感想をいただきました。  
この度は参加者の枠を広げた事もございますが、日本古来の文化である茶道を通じて幅広い層の方や、外国の方と互いに理解しあい、和やかに交流できました事、大変嬉しく思いつつ会を終える事ができました。



ふれあい事業  
奥沢中和会茶道部 三浦とも子

## 認知症アクションチーム 九品仏地区活動団体交流会(2/27)

九品仏地区で主に高齢者を対象に体操や茶話会など交流の場を運営している団体から10名・都の認知症介護指導者2名、そして地区社協・あんすこ職員5名が一堂に会しました。各団体の活動紹介後は「認知症になっても、活動への参加を継続してもらうためにはどうしますか」と、具体例をテーマに2卓で話し合いました。スタッフも参加者も加齢は不可避なこと、お互いの立場になって考えることは大切です。スタッフであればサブ担当を、参加者にはスケジュール表を手渡したり誘い合っただけの参加もよいのではと、過去の例や実践から対応について話がすすんでいきましたが、そのベースにあったのは心が通い合う関係づくりでした。

また、あんすこから「アクションチーム※」と「九品仏版希望ファイル※」取り組みの説明が、地区社協からは「行方不明高齢者への対応について※」の案内がありました。(M.S) ※詳細は各部署にお尋ねください。



## ボッチャ交流会@ 奥沢福祉園(2/16)



今年1月末、日経新聞土曜日版の『何でもランキング』で、モルックが『世代を問わず楽しいニュースポーツ』の第一位にランキングされていました。この結果には深く納得しますが、さらに『障がいの有無も問わず』という言葉も付け加えたいと感じています。

昨年から参加しているボッチャ交流会では、奥沢福祉園の通所者の方々や地域の方たちといっしょに、ボッチャとモルックを楽しんでいます。どちらも、狙いを定めて一投するごとに、みんなで喜んだり、悔しがったり。たとえ上手いかなくても「惜しい！」と声をかけ合う温かさもあり、そこに障がいの壁は感じません。回を重ねるごとに、顔見知りの方も増えてきて、心の距離も縮まってきているように思います。気軽に参加できるスポーツとしてはもちろん、地域の方々との交流の場としてもおすすめです。

皆さんも、ぜひ一度参加してみたいはいかがでしょうか。  
次回:4/20(月)13:30~九品仏まちづくりセンター2階 (A.M)

社協の食で応援プロジェクト(フードドライブ)にいつも温かいご支援をありがとうございます。10時~九品仏複合施設入り口横で開催します。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★賞味期限が1ヶ月以上あるもの  
★常温保存できるもの ★未開封のもの

社協の旗が目じるしだよ!

次回は  
3/28(土)

# 社協の 食で応援 プロジェクト